

2005年7月

人間歯科学研究会報

人間歯科学研究会

〒567-0883 茨木市大手町 7-26

FAX 072-626-6519

E-mail yoshihara@gold.ocn.ne.jp

夏の暑さに便乗して、見なれぬウイルスや病原菌が襲いかかってくる。夏バテや免疫力低下の予防が必要である。

平穴植毛歯ブラシは、口腔内細菌叢を分解したり集束を拒むだけでなく免疫力を高める効果が高いことが特徴だが、最近興味がある報告を複数の先生からいただいた。

会報から得た知識を生かして、「8の歯の日、歯ブラシ交換日」と称して毎月1回平穴植毛歯ブラシを交換したり、口腔検診やブラッシングをしていたら、むし歯が激減してしまったそうだ。「これから先、どうしよう」というのである。

これぞまさしく予防歯科の原点をついているといえる。むし歯がなくなったら、健康だと思っていた歯の形や初期脱灰あるいは硬度や熟成度が見えてくる。おそらく予防法も歯ブラシ以外の方法が考え出されるはずである。

削ったり充填したりする必要がないのだから、唾液の検査や細菌の検査をする時間が取れる。

今後多発するであろう歯周病は、これらの検査によって早期発見でき、口内炎や口角炎の予防処置や保健指導も充実する。

歯牙年齢だけでなく歯肉年齢を意識するようになると、歯列や咬合までが未来予測できるようになる。

「歯ブラシでしっかり予防を！」が今月のテーマです。